

留萌みなとライオンズクラブ 会報誌

発行人 PR 情報委員会 発行所 留萌市明元町6丁目22-1 留萌みなとライオンズクラブ




第1337回楽納涼例会を開催
8月21日(水)この日は伊藤L所有の大和田倉庫で納涼例会が開催されました。例会セレモニーが終わり龍川第一副会長の乾杯の音頭で納涼例会がスタートし会員や家族などを交えてBBQをしました。倉庫外には吞濤祭りの行燈の山車を立ち上げ、

ゲームでは計画委員会が用意をした水槽で子どもたちが金魚すくいを楽しみ、レディー対象のゲームでは2グループに分かれ金魚すくいソーメン吸い吸いりゲームなどで楽しい時間をみんなで過ごすごができました。例会最後には外で花火を打ち上げ、留萌の短い夏をクラブメンバーや家族で楽しむ良い例会になりました。



ぞんぐり作戦たねと探検隊(植樹編)
2019年7月2日10時より新しいチバベリの森をつくらう！(ぞんぐり作戦)と題し、留萌ダム堤体下流広場にて留萌市緑が丘小学校6年生がぞんぐりの樹を植樹する環境保全事業を行いました。今期、新体制初となり市民奉仕委員長である岩淵委員長のもと初の事業が行われ、午前10時に緑ヶ丘小学校の生徒がバスで到着し、今年度会長のL長内敬憲から生徒へ向けて挨拶があり、ダム関係者から植樹にあつての注意事項などが話されました。

今回は小学校4年生の時に採取した種を成長したぞんぐりの樹を6年生で植樹する長期事業で、留萌開発建設部・留萌ダム管理支所の協力により、我々留萌みなとライオンズクラブのメンバーと緑が丘小学校6年生がポット苗をダムの土地、



地区ガバナー公式訪問が羽幌で開催
8月23日(金)第1回地区ガバナー諮問会議並びに地区ガバナー公式訪問として羽幌町へ諮問会議は長内会長、龍川第一副会長、山田幹事、柳澤会計の4名で会議に参加

諮問会議では前期のYCE基金の決算報告や今年度の基金の子算の承認が行われ、地区から降りてきた各諮問事項に対し、各クラブからの検討内容や諮問内容の発表が行われました。

諮問会議終了後、ライオンズクラブ国際協会311B地区ガバナー公式訪問が開催されました。第4リジョンから出席された各クラブ会長の紹介があり当クラブからは総勢10名で出席をして、地区ガバナーL中谷宣巨が地区の方針や今後の方向性などが示されました。



数か所に植樹事業を行った植樹が終わると、留萌に居る生物の虫の標本や水中生物などを生徒皆に見せ、説明。種類の多さや、習性などに子どもたちも歓声を上げて熱心に耳を傾けていました。2012年に始まった、環境保全を目的に行うこの青少年育成事業も昨年、タネを採った4年生が6年生になり植樹した後、終了となつてしまします。子どもたちとの時間や笑顔を見る限り、残念ではあります。新たな形を模索し、地域に必要とされる奉仕の形を実践して参ります。

会員スピーチ六役就任挨拶及び小野栄一L「留萌みなとに大切なもの」
2019年7月2日(火)この日の例会は六役就任スピーチ



ガバナー方針ではLCIFクラブシニアリング交付金の説明やスチャールオリンピッククスへの協力とライオンズクラブ国際協会としてのテレビコマーシャルの説明などがされ、懇親会

第45回中学もい駅伝大会を開催

2019年8月24日(土)当クラブ主催の中学もい駅伝大会が開催されました。留萌陸上競技協会様と株式会社留萌新聞社様との共同主催事業で45回目を数えました。この事業は旭川トヨペット株式会社様のご協賛を受け開催されている大会で、昨年は台風のために中止となり、



チとL小野栄一による会員スピーチを行いました。セレモニーでは長内体制初例会として長内会長から「原点回帰そして、未来へ」覽古考新(らんこうしん)「皆様の協力が必要不可欠で、共にクラブの伝統を守り、充実した1年を送り、次世代に繋げたい」と会員に伝えられました。7月の誕生日の会員(記念品が長内会長から丹羽L、田坂L、竹内Lへ手渡されました。今回、留萌みなとライオンズクラブに入会した益田 猛L、工藤由美子Lの紹介があり、新入会員としてクラブへ温かく迎え入れられました。就任スピーチでは長内会長から山田幹事、柳澤会計、前田テマー、坂野アールツイスター、梅田計画委員長が就任にあたり、それぞれの豊富が述べられ共に一年の奉仕活動がより充実したものになるために活動していくことで会員へ周知を図りました。



今年もあいにくのお天気となりましたが、大会を開催することができました。当日は雨模様で選手たちも状況的には良くありませんでしたが、大きな大会前の調整ができる大会として定着しており22のチームが参加してくれました。大会は男子の部、女子の部、男女混合の部と分かれており市内の中学校、札幌や士別、富良野、旭川などのチームがエントリーしました。大会序盤は雨できつレース展開となりましたが、終盤には雨も上がり選手も走りやすい気候でのレースとなりました。



開会式では昨年優勝チームの士別中学校(男子)と上富良野中学校(A女子)から優勝旗の返還が行われ長内会長から「悔いの残らない走りをして一層自分の力を磨いて欲しい」と伝えられ各校から優勝旗が返



小野栄一Lの会員スピーチでは現在のクラブで昭和入会の会員が名となり、新しい世代の会員も増えてきた中、私たちが留萌みなとライオンズクラブの伝統・文化や留萌に多くの足跡を残した偉大な会員がたくさんいる、しかし、そんな偉大な先輩も後輩ライオンが何かを考え、何かを行動するとき一切、口を挟まず、つぶさず、寛容な心で若い会員の考えを認めて共に行動してくれる。

だから若い会員ものびのび活動することによって、それが地域に認められる奉仕の形となっているそれが我々留萌みなとライオンズクラブの一番の伝統です。ここにいる若いメンバーも臆さず、保守的なものの考えを捨て



この大会は育成事業として定着し、会員の意識離れが懸念されています。一人一人の少しの時間を割いて奉仕する事が何よりも次代を創る彼らのためになると確信しています。

- 男子の部
優勝 札幌陸協チーム
2位 札幌選抜チーム
3位 士別中学校チーム
- 女子の部
優勝 札幌選抜チーム
2位 富良野チーム
3位 旭川神居東チーム
- 男女混合の部
優勝 滝川市立明苑中学校
2位 札幌選抜チーム
3位 岩見沢市立光陵中学校

集まり文化などを学ぶキャンプ
スケジュールで開催されていま
す。この日の歓迎会は和太鼓
を体験したり、キャンプで作成
した提灯の発表など、食事が
並んだ円卓を囲み懇親を深め
ました。



今回の派遣生が23日の当クラ
ブの例会に参加することもあ
り、会長、副会長、幹事の3名
が顔合わせを行いました。
派遣生には標茶高校の生徒が
グローバル世代教育の一環でア
テンドを行い、派遣生がより、
案して北海道で過ごすことが
できるようにとキャンプ期間中、
寝食を共にしてお手伝いを頂い
ていました。
**第1335回2019夏
季YCE受入派遣生を迎
えて例会を開催**

2019年7月23日(火)
この日の例会は交換留学生を
迎える例会で会長の長内Lか
ら「今回の例会や北海道へ滞在
することによって、会員は留学
生から何かしらの事を本例会
で感じ取って欲しい、留学生に
は北海道やこの留萌へ来て文化
など多くの事を体験し、日本
に何かを感じる事ができる滞
在にしてほしい」と会長挨拶の
中で話されていました。
2019夏季交換留学生は例
会の参加前に曹洞宗聚福寺で
座禅体験や茶道体験を行い、



留萌消費者センターで行われ
ている例会へ駆けつけてくれま
した。331複合地区YCE委
員長である、L柳澤 豊より受
け入れに対しての挨拶があり、
留学生の親でライオンズ会員よ
りオレゴンのライオンズバッヂが

会員へ贈られました。
今回の派遣生は、ベルギー1名、
トルコ1名、アメリカ1名、台
湾2名の計5名が参加し、期
間中のアテンドとして標茶高
校の学生5名が学校の国際交
流事業の一環で担当してくれ
ています。

自己紹介では将来プログラ
マーになりたいや、あこがれの
日本へ来る事ができて感謝
しているなどそれぞれが留学
期間に対する想いなどが自己
紹介として話されました。
自己紹介後は標茶高校生に
よる高校の取組としてプレゼ
ンテーションが行われ、今回の
サマーキャンプの話や高校の
紹介があり、標茶高校は日本
で一番敷地面積(東京ドーム
5個分の広さ)が広い高校と
して様々な、取組を行っている
高校だそうです。

国際交流、インターナショナル
ゼミなどを通してグローバル社
会に対応できる人材育成や
敷地内にある湿原などから
学ぶ環境保全を学ぶ人材育
成に力を入れている高校だそ
うです。プレゼンテーションも
分かりやすい内容と聴きやす
い口調で素晴らしプレゼン
でした。

最後に長内会長より各留學生
の名入れ箸と木札のお守りが
贈られ、標茶高校の生徒にも
お土産として文房具などが贈
られました。



例会終了後は教育奉仕委員会
の丹羽委員長をはじめ、委員
会メンバーが帰りの時間まで留
萌の黄金岬などでカニ釣りや海
遊びのアテンドをしてくれまし
た。

**第1336回2018
2019年度 決算報告
例会を開催**

2019年8月6日(火)
この日は2018-2019年度
の決算報告と次年度の予算承
認の例会が留萌消費者セン
ターで開催されました。
セレモニーでは331B地区名
誉顧問であるL高橋忠四郎へ

浩一氏より選手へ向けて激励の
挨拶をいただきました。



昨年度、優勝チームである増
毛はつらつチームより優勝旗の
返還がされ、クラブより優勝ト
ロフィーが贈られました。選手
宣誓では萌友ファイターズの八
幡さんと萌友アグレッシブの瀬
川君が務め、大会に対しての悔
いのない試合をし、一生懸命大
会に臨むと宣誓され、バレー
ボール大会が始まりました。

試合は女子の部、男女混合の
部、ジュニアの部の19チームが
参加し、試合が行われます。
男女混合チームの優勝チーム
はナナカマド杯への出場権が与
えられます。試合では応援の
父兄の応援も熱が入り、選手
も暑さに負けずに熱い試合が
繰り広げられました。

自由に活動して欲しい、私も頼
られるオヤジになれることを目
指して共に活動し、クラブの最
も大切にしたい伝統を守るこ
とを胸に留めながら活動しほ
しいと若い会員や会員に向け
て話されました。
**環境保全 Newどんぐり
作戦のポッド植えを開催**
2019年7月19日(金)
昨年、2018年10月に4年
生でたねとりを行った、5年生
になり留萌ダムにてポッド植え
をしました。



昨年より子どもたちも苗も大
きく育ち、留萌ダムに帰って来
ました。
この事業は緑が丘小学校の4
年生でたねとりを行い、5年生
で苗をポッドに植え、6年生に
なつてポッドに植え、成長した

苗を森に植樹をする長期事業
で、開発の留萌ダム担当者や
建設技研のスタッフがこの青少
年育成事業に協力をいただき
ながら事業展開を行っています。
留萌ダムに集まり、事業の内容
の説明を受けて班に分かれ、昨
年採取し成長した「ホウノキ」
や「ヤチダモ」、「ケヤマンノキ」
の苗を植樹できる大きさに育
つまで、ポッドに植え替えをし
て来年、植樹するものとなりま
す。ポッド作業を終了した後は
留萌ダムに生息するヌメヒヤ
メダカ、蛇の抜け殻や野ネズミ
の標本などを通して森に自生す
る生物について学び目を輝かせ
ながら説明を聞いていました。



来年は生徒も6年生になり、こ
の森で植樹を行う事になってい
ます。この日は合計、400個
のポッド作りしました。

**第36回留萌地区小学生
バレーボール連盟結成記
念大会を開催しました**

2019年7月21日(日)
この小学生バレーボール大会は
留萌みなとライオンズクラブ杯
として留萌地区小学生バレー
ボール連盟結成記念として開
催されているバレーボール大会
です。今年も旭川トヨペット株
式会社様のご協賛をいただき
留萌市スポーツセンターで開催
されました。



開会式では当クラブ会長であ
るL長内敬憲より挨拶があり、
ご協賛いただいております旭川
トヨペット(株)代表取締役 遠藤
穰様より選手へ向けて「練習の
成果を試合で出し切つて悔いの
ない大会にしてほしい」と伝え
られました。祝辞として留萌
市教育委員会 教育長の武田



ライオンズクラブ国際協会地
区役員の委嘱状が伝達され委
嘱状が手渡されました。また、
今期入会の益田 猛株式会社
堀口組)の紹介がスポンサーで
あるL柳澤 豊から紹介があり
益田Lからスピーチをもらい、
例会アワーでは2018-2019
19小路会計より事業・運営決
算報告や同名クラブ特別会計
創立55周年記念式典に関わ
る決算報告の説明等があり会
計監査のL中川修光より監査
報告を受け会員に承認されま
した。財務委員長のL田村
裕より本年度の予算の説明と
変更点などLCIFへの今季の
目標額などについて説明され、
この例会で創立55周年記念
式典の決算が満場一致で承認
された。55周年大会長L柳澤
豊、大会実行委員長L田村裕
総務部長のL東原義廣、事業
部長のL森 毅から周年当日の
お話や感想などが会員に対し
述べられ、周年当日のダイジェ
スト版の映像を披露しました。

**2019夏季YCE受入
派遣生歓迎会に参加しま
した。**

2019年7月21日(日)
バレーボール大会終了後、深川
で行われているYCE2019年
度夏季YCE派遣生受け入れ
の歓迎会へ長内会長、龍川第
副会長、山田幹事で参加して
きました。
この事業は当クラブから331
複合地区へ輩出している柳澤L
が委員長を務める最後の事業
となり、今年はアメリカ1名、
ベルギー1名、トルコ1名、台湾
から2名の派遣生として5名の
派遣生を北海道へ受入れを行っ
ています。



第1ホストファミリーと第2ホス
トファミリーとの間の時期に深
川市のネイパル深川で派遣生が